

除菌スプレー1500本寄贈

札幌、東京の業者 沼田町、全戸配布

【沼田】新型コロナウイルス感染症拡大に伴うアルコール消毒液不足を受け、環境衛生会社のESI(札幌)と液体噴霧器部品のタスマン(東京)は25日、殺菌効果が高いとされる次亜塩素酸水のスプレー(1本1200円程度)1500本を町に寄贈した。町は28日から、スプレーを全世帯に配布する。町役場には次亜塩素酸水入り的大型タンクを置き、町民が空容器に補充できる体制を整えることにしている。

タスマンは数年以内に沼田工業団地(北竜)で、新工場を操業する予定があることなどから、寄贈につながった。ESIは備蓄用目的などとして自社製造する次亜塩素酸水のパウダーを提供した。同社によると、次亜塩素酸は白血球がつくる抵抗物質と同じで、体内にも存在する物質。高い除菌効果が見込めるほか、人体にも安全という。

25日には町内の体育館で、同社員が次亜塩素酸水のパウダーに水道水を加

え、町職員らがボトルに詰めた。約3時間の作業で、500ミリリットル入りのボトル1500本が完成。町は町内の約1350世帯に加え、保育所や小中学校、高齢者施設などにも配布。次亜塩素酸水約千リットルのタンクを4月中旬に役場内に設置、町民が補充できるようにすることで、継続的な除菌体制整備につなげる考えだ。

ESIの菊地匡彦社長は「スプレーボトルを用意するのもままならない現状。こうした形で町民のお役に立ててうれしい」。横山茂町長は「高齢者ら外出が難しい方もいるので、手分けしてできるだけ早く届けた」と話した。(矢野旦)

町内で行われた次亜塩素酸水の製造

